



Innovation Study

学びと技術を活かして

福祉・介護の課題解決を通して
地域に貢献しよう。

共生みらい
アイデアコンテスト
受賞作品

ぜひご覧ください！

福祉分野でもイノベーション(技術革新)が、ますます求められています。理工系やデザインなど様々な分野で学ぶ学生の日頃の学びと、福祉現場での課題がつながれば、イノベーションが生まれます。それは、学生にとって、自分のアイデアが地域社会に役立つ、貴重な原体験となります。長野県では「信州共生みらいアイデアコンテスト」を開催し、数々の学校が多様な団体や企業とコラボし、素晴らしい事業が生まれています。

一人一人が
未来を創る
当事者に
なるために



分野をこえて
創造的な学び
STEAM教育

ふくし × 若者
× 企業団体

時代に合わせて
変化する必要性
(学びやスキル)

学びとイノベーションの実践事例紹介

信州共生みらいアイデアコンテスト
(2020受賞者の事例です)



長野県と長野県社会福祉協議会では福祉・介護分野のイノベーションを進めていくことを目的に、工学やデザイン等の様々な分野で学ぶ学生の皆様から、各専門分野の知識を活かして福祉・介護の課題を解決するアイデアコンテストを開催しています。詳細はホームページをご覧ください。

事例1



事例2



事例3



事例4



実践事例の内容は裏面をごらんください



Innovation Study

学びと技術を活かして

福祉・介護の課題解決を通して
地域に貢献しよう。

Innovation Study

共生みらいアイデアコンテスト
受賞作品の紹介



駒ヶ根工業高等学校
イッサとマフダチ

事例 1
(2020年度 県知事賞)
駒ヶ根工業高等学校



リフター Project

●低コストで、未来を支え、技術でみんなを笑顔に

高齢者の困りごとを耳にし、医療・福祉・介護関係で何か役に立つものを作れないかと思い「車いす」を主に考えてきました。バイクや農機具を乗せる際に使っていたアルミブリッジをヒントにひらめき、福祉車両の車いすリフターに応用しました。安全面確保など地域企業にも協力をもらいました。



事例 2
(2020年度 県知事賞)
上田千曲高校



上田千曲高校 おしごとひろめGirls活動報告

OHT～おしごとひろめ隊～

●障がいのある人たちの「仕事」魅力的な「商品」を社会に広めるための提案

障がい者の就労施設での体験を通じ、そこで作られている商品のPR方法を検討。商品の魅力発信のため、SNSやチラシデザインなどを工夫し実践しました。上田市の観光課にアドバイスをもらうなど地域の特色も生かして活動。翌年以降も後輩が引き継いで活動継続中です。

くわの実収穫体験



事例 3 (2021年度)
長野工業高校



ポヨヨグラム

●「よりよい防災マップ」～アイデアから実用化へ～

効率的に手軽にスマホで見られるデジタル防災マップを開発。2021年度にはソフトバンク賞を受賞。2022年には実用化に向けて開発を進めました。また地域に協力をもらい、アナログのマップ作りにも挑戦したり、行政や専門家にも助言をもらうなど。より実用的なものへと検証を重ねました。



事例 4 (2021年度)
池田工業高校



池工版デュアルメゾンシステム

●池工版デュアルシステムグランメゾン池工ワンチームカート

2020年から4年にわたり、高齢者使用での電動・足こぎ両用カートの設計、製作を計画。安全性能を重視した高齢者に楽しんでいただける製作品を高校生、小・中学生の協力を得てプレゼンし、地元企業・団体11社、他県の企業2社と共同製作をしていく予定です。

